

令和5年度 評価計画及び自己評価

(計画 ・中間 ・最終)

阿賀中学校区 校番 8 学校名 呉市立阿賀小学校

| | | | |
|----------|--------------|----------------------|---|
| a 学校教育目標 | 自ら伸びるとともに伸びる | b 経営理念 ミッション・ビジョン | <ミッション>(学校の使命) ・地域との協働のもと 主体的・自律的に生きる子どもを育成する。 <ビジョン>(将来の学校像) ・阿賀学園地域教育連携協議会(アガデミア)の活動を生かして、「活気ある楽しい学校」「保護者・地域から信頼される学校」「やりがいのある学校」を目指す。 |
|----------|--------------|----------------------|---|

| | |
|------------------------------|--|
| c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点 | 昨年度から呉市「小中から創る『未来の学び』実践事業」の指定を受け阿賀中学校区で研究を進めており、授業や生活における居場所づくりを通して、主体的に学び、ともに伸びようとする児童生徒を育成する取組を行っている。昨年度は、研究テーマの副題である「授業や生活における居場所づくり」について、本中学校区での捉えを共通認識することができた。そこで、今年度は、これまで取り組んできたことを基盤に据え、本中学校区の授業スタイルを確立し、それに伴う手立てや工夫を一層充実させ、児童の学力向上に努めるとともに、児童の正確な実態把握(個の変容の把握)に基づく取組を進め、児童の誰もが安心して、目的意識をもって過ごせるようにしていきたい。 めざす子ども像 自分の考えをもつ子ども・最後までやりきる子ども・認め合い励まし合う子ども |
|------------------------------|--|

| | | | | |
|------------|-------|-------------|--------|------------|
| 育成すべき資質・能力 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 自らへの自信 | 思いやり・感謝・貢献 |
|------------|-------|-------------|--------|------------|

| 評価計画(中期経営目標を設定してから 1 2 3 年目) | | | | | 自己評価 | | | | | | |
|--|-------------------|----------------------------|---|---|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|
| 重点 | d 中期(3年間)経営目標 | e 短期(今年度)経営目標 | f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します) | g 指標(効果を見とる目安) | h 目標値 | 上半期 | | | 下半期 | | |
| | | | | | | i 達成値 | j 達成度 | k 評価 | i 達成値 | j 達成度 | k 評価 |
| *** | 学力の向上 | ①基礎基本の学力の定着を図る。 | ・学力調査等の課題を踏まえ、指導の重点を定める。 ・「ドリルタイム」を年間計画に従って継続して取り組む。 ・漢字・計算の反復練習や課題克服のための学習を実施する。 ・個の課題に応じて、個別指導を行う。 | ・全国学力・学習状況調査において正答率30%未満、無回答率を「0」をめざす。 ・標準学力調査で全国平均より全校平均がプラス18点以上をめざす。(※各学年プラス3点以上) ・国語と算数の単元テストの平均点 | 95% | 96% | 101% | A | 96% | 101% | A |
| ・授業改善を進める。 ・①問いをつくる ②自分の考えをしっかりとつ ③みんなの考えを交流する ④発展的ふりかえりの時間を確保する。 | | | ・児童の授業満足度(よくわかる) | 90% | 94% | 104% | A | 95% | 106% | A | |
| ** | 自尊感情の高揚 | ①規範意識を高める。 ②思いやりの心を育てる。 | ・生活目標を示し、「返事・あいさつ・くつそろえ」を点検させる。 ・縦割り掃除を無言で行う。 | ・「返事・あいさつ・くつそろえ」の自己評価 | 90% | 89% | 99% | B | 91% | 101% | A |
| ・クラスチャレンジ、阿賀小オアシス隊、阿賀小さきれいにし隊等の活動の充実を図る。 ・「くん・さん」や「ほかほか言葉」を使う。 | | | ・「自分が好きだ」「自分にはよいところがある」の自己評価 | 80% | 78% | 98% | B | 82% | 103% | A | |
| * | 基本的な生活習慣の定着と体力の向上 | 健康な生活を増進させる。 体力の向上を図る。 | ・栄養教諭と連携した食に関する授業の実施や委員会活動を巻き込んだ運動を展開する。 ・定期的に生活カードで点検し、保護者啓発を促す。 | ・「早ね・早おき・朝ごはん」の達成率(毎日朝ごはんを食べる。) | 97% | 96% | 99% | B | 94% | 97% | B |
| ・体育授業の充実、「阿賀小準備運動」・「あがり運動」を実施する。 ・体力テストに向けてブラッシュアップカードを活用する。 | | | ・新体力テスト(50m走、20mシャトルラン、長座体前屈)が県平均を上回る。 | 65% | 41% | 63% | C | 55% | 85% | B | |

| | | | | | | | | | | | |
|------|--------------|-------------------|----------------------------|------------------------------|-----|-----|------|---|-----|------|---|
| 業務改善 | やりがいのある学校づくり | 児童生徒と向き合う時間を確保する。 | ・会議時間、研修時間等を短縮する。 | 児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合 | 80% | 86% | 108% | A | 77% | 96% | B |
| | | 長時間勤務を削減する。 | ・平日18時30分退校、週1日17時退校を徹底する。 | 時間外勤務が月45時間を超えない教職員の人数 | 96% | 32% | 33% | D | 97% | 101% | A |

【k:自己評価 評価】
 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

令和5年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

(中間・最終)

阿賀中学校区 校番8 呉市立阿賀小学校

| 重点 | d 中期(3年間) 経営目標 | e 短期(今年度) 経営目標 | l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます) | m 今後の改善策(案) (こう改善します(案)) |
|------|-------------------|---|---|--|
| *** | 学力の向上 | <p>Ⓢ 基礎基本の学力の定着を図る</p> | <p>○児童の「授業満足度」は95%、国・算の単元テストの平均点86%で、いずれも目標値を達成した。 下半期も児童の実態把握に努め、めあてからまとめ、発展的振り返りといった授業実践を積み重ね、児童の主体的な学びを通して、児童の学力を伸ばすことができた。また、一斉指導や個別指導、授業構成やタブレット活用等を効果的に行うことで、授業における子どもの居場所づくりにも努めることができた。</p> | <p>・「問い」「選択・自己決定」「発展的ふりかえり」といった阿賀中学校区の授業スタイルを全教職員が意識し実践を積み重ね、児童の主体的な学びを通して、児童の学力を伸ばしていく。 ・学力に課題がある児童については、授業での個別の支援や放課後の学力補充を引き続き行う。 ・レディネステスト等で、個のつまずきを把握し、授業改善につなげる。</p> |
| ** | 自尊感情の高揚 | <p>Ⓢ 規範意識を高める</p> <p>Ⓢ 思いやりの心を育てる</p> | <p>○●「くつそろえ」は93%で目標値を達成したが、「返事」は88%、「あいさつ」は86%であった。 ○●「自分にはよいところがある」は84%で目標値を達成したが、「自分が好き」は79%であった。 生活目標やクラスチャレンジ、阿賀小きれいにし隊や各キャンペーンなど、児童主体で取組を行っていくことを継続し、規範意識を高めることができた。 全教職員が児童への肯定的評価や前向きな働きかけを意識した関わりを日常的に行うことで、自分のよさに気づく等、自尊感情の高揚につながった。</p> | <p>・生活目標やクラスチャレンジ、阿賀小きれいにし隊や各キャンペーンなど、児童主体で取組を行っていくことを継続し、規範意識を高めていく。 ・児童の実態や状況、QU調査を踏まえながら、全教職員が児童の心に寄り添った肯定的評価や前向きな働きかけを日常的に行い、自尊感情の高揚に努める。</p> |
| * | 基本的な生活習慣の定着と体力の向上 | <p>健康な生活を増進させる</p> <p>体力の向上を図る</p> | <p>○食育朝会で「簡単エッグトースト」のレシピ動画を紹介し、後日児童から送られてきた作レポ等を掲示し朝食作りへの意欲向上を図った。 ●12月実施の学校評価アンケートの結果は、毎日朝ごはんを食べている児童は93.9%で、1.8ポイント減少していた。 ○意欲づけのあがり生活カードでは89.3%と1回目より0.4ポイント上昇していた。 ○新体カテストの結果から、県平均を越えた割合は、50m走75%、長座体前屈50%と前回の結果から向上している。これは朝トレに取り組んだ結果だと考えられる。 ●シャトルランは41%と前回に比べて、結果は変わらなかった。記録向上に向けて行った体力アップトレーニングを3学期も継続していく必要がある。</p> | <p>・委員会活動の常時活動としての給食放送や食育朝会、学級活動において、栄養教諭と連携した食の指導を行う。 ・前回の結果を振り返りながら、あがり生活カードを実施し、生活習慣向上の意識を高める。 ・3学期末に、あがり生活カードの結果をもとに保護者啓発を行う。 ・体力アッププログラムの徹底、くれ・チャレンジマット・スタジアム、なわとび月間・持久走の取組を充実させていく。</p> |
| 業務改善 | やりがいのある学校づくり | <p>児童生徒と向き合う時間を確保する</p> <p>長時間勤務を削減する</p> | <p>●児童と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合は77%。平素の授業短縮や成績時期の短縮日程等により時間の確保ができた。 ○月45時間を超えない教職員の人数の割合は97%であった。</p> | <p>・タブレットの活用、整理整頓、ペーパーレス等、効率的な職場環境の創造を継続して行う。 ・時数の管理をしながら、短縮授業等で、放課後の時間を確保していく。 ・効率的な作業配分を行い、個人作業の時間を確保し、勤務時間を削減していく。 ・暮会等で声をかけ合ったり掲示物で啓発したりすることで、効率よい時間の使い方を意識できるようにする。</p> |

令和5年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・**最終**)

阿賀中学校区 校番8 学校名 呉市立阿賀小学校

| 評価項目 | ※評価 | 理由・意見 |
|----------------|-----|---|
| 目標、指標の設定の適切さ | B | 継続して課題に取り組むことで、児童のよりよい姿を求めようとする姿勢が見える。学力の向上と自尊感情の高揚については目標、指標とも適切であった。基本的な生活習慣の定着についての目標値と指標の設定が少し高すぎたのではないか。 |
| 目標達成のための方策の適切さ | A | 目標達成に向けて、方策が具体的であり、児童が取り組みやすいものとなっている。基礎基本の学力の定着においては、方策の重点化と継続性が図られていた。規範意識を育てるために、挨拶・返事・靴揃えの徹底がなされていた。日常的に健康づくり・体力づくりなどが行える方策であった。 |
| 自己評価の結果の分析の適切さ | A | 「授業満足度」が高い水準にあり、教員・児童が充実した授業を積み上げていこうと努力していることは素晴らしい。標準学力調査での学力の復活はうれしい結果であり、今後も安心せず、学力の維持・向上を図ってほしい。学力調査・新体力テスト等、経年比較し、数値で的確に分析している。 |
| 今後の改善策(案)の適切さ | A | PDCAサイクルを学期毎にまわし進捗状況を把握しながら取組を見直し、改善策を講じている。どの項目についても、現時点での目標値達成をもとに今後の改善策を練られている。生徒指導上の諸問題についての現状と課題解決に向けた取組についても言及がほしい。新年度を迎えるにあたり、様々な異動でこれまでの取組が停滞しないことを願う。 |
| その他 | | 「子どもの居場所づくり」を学校全体で共有し、先生方が自信をもって授業に臨んでいる。各主任がそれぞれの立場で、子どもが主体的に活動できる場を設定し、「知」「徳」「体」のバランスのとれた質の高い教育実践の成果が、子どもや保護者の「学校が楽しい」との評価につながっていると思う。全体的に落ち着いた学習及び生活態度が見られ、楽しく学校生活を送っていることは素晴らしい。先生方が日頃から実践されていることが結果に現れている。今後も家庭や地域と連携して子ども達の成長を共に見守れたら良いと思う。今後も先生方の信念のもと、身体に気を付けて頑張ってもらいたい。今後とも、チーム阿賀小として、児童の力をさらに伸ばしていくことを期待する。 |

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

| | |
|--------------------|---|
| 学校関係者評価を受けての今後の改善策 | <p>授業や生活における居場所づくりを通して、主体的に学び、ともに伸びようとする子どもの育成を、今後も「チーム阿賀小」で継続して取り組む。</p> <p>子どもや保護者、地域の実態を踏まえ、適切な指標を設定し、方策を練り、PDCAサイクルをまわしていく。</p> <p>子どもの実態や状況をチームで把握・共有しながら、今後も個の支援の充実を図り、楽しい学校づくりに努める。</p> <p>阿賀中学校区の学習スタイルの確立・共有に努め、子どもの学力を伸ばしていく。</p> <p>返事、あいさつ、くつ揃えといった規範意識、自分が好きといった自尊感情等、子ども主体の取組で向上していけるよう手立てを講じる。</p> <p>「朝食を摂る」「体力アッププログラム」「遠方凝視」などの取組を充実させ、体力づくり・健康づくりに努めていく。</p> <p>今後も、教職員同士の連携を大切にし、放課後の時間を柔軟に活用したり、適材適所を生かした作業分配を行ったりすることで、効率的な職場環境の創造を行っていく。</p> |
|--------------------|---|